

宇田雄一「古典物理学」

22  $\forall m \in \mathbb{N}; \forall P'_1, \dots, P'_m$ : 質点;  $\forall f \in F_{0, m}$ ;  $\forall S'$ : 時空座標系;

[ $h_{0,2}(P'_1, \dots, P'_m; f; S')$ ]によって次の文を表すことにする。

$$\forall k \in \{1, \dots, m\}; h_{0,1}(P'_{k-1}; f(\square, k, 3); S')$$

23  $\forall f \in F_3$ ;  $\forall S'$ : 時空座標系;  $\forall U'$ : 電磁座標系;

[ $h_3(f; S', U')$ ]によって次の文を表すことにする。

$$\forall \xi \in N_{0,1}; U'(f(\xi, \square, \square)) = [S'(\xi) \text{での電磁場の値}]$$

24 空欄。

25  $\forall P'$ : 質点;  $\{h_{0,1}(P'; f; S') \mid f \in F_{0,1} \text{ and } (S' \text{ は時空座標系だ})\}$  の元を、 $P'$  の分布または $P'$  の分布の歴史と呼ぶことにする。

26  $\{h_3(f; S', U') \mid f \in F_3 \text{ and } (S' \text{ は時空座標系だ}) \text{ and } (U' \text{ は電磁座標系だ})\}$  の元を、電磁場の歴史または単に電磁場と呼ぶことにする。

27  $\{h_{0,2}(P_1, \dots, P_n; f; S) \mid f \in F_{0,2, n}\}$  の元を、自然の可変的な部分の歴史と呼ぶことにする。28 空欄。

29 [ $h_0(P_1, \dots, P_n)$  and  $h_3(E; S, U)$ ] を自然の固定的な部分の歴史または環境条件と呼ぶことにする。30 空欄。

31 自然の可変的な部分の歴史全体の集合を  $\mathcal{H}$  と書くことにする。

32  $\mathcal{N}$  を  $\mathcal{N} = N_{0,2,n}$  で定義する。33  $\mathcal{F}$  を  $\mathcal{F} = F_{0,2,n}$  で定義する。34  $\mathcal{F} \subset \mathbb{R}(\mathcal{N})$

35  $\mathcal{M}$  を次式で定義する。

$$\mathcal{M} \in \mathcal{H}(\mathcal{F}) \text{ and } [\forall f \in \mathcal{F}; \mathcal{M}(f) = h_{0,2}(P_1, \dots, P_n; f; S)]$$

36 空欄。37 空欄。

38  $\forall f \in \mathcal{F}; [e_{0,2}(f, E, \mu(P_1, \dots, P_n; I, J))]$  を  $\mathcal{L}(f)$  とも書くことにする]

39 空欄。40  $\forall f \in \mathcal{F}; [\mathcal{M}(f) \text{ が可能だ}] \Leftrightarrow \mathcal{L}(f)$  41 環境条件は真だ。

この文章は 1 20 21 22 25 27 29 32 33 34 35 36 37 38 39 の部分においてのみ  
 $T_2(P_1, \dots, P_n; E; S, U, I, J)$  と異なる。